

## 分科会代表より

気液固分散工学ニューズレターの号数は31になりました。私事で恐縮ですが、2009年に第1号が発行されてからの15年間、分科会には長くお世話になってまいりました。微力ながら研究業務を続けてこられたのも、分科会を介した諸先生方のご指導ご鞭撻のおかげであったと思考しております。また、気液固の名称通り、まさに遍く現象に関する研究発表がなされてまいりました。また今後も、一貫して化学工学の重要な分野として位置づけられることが推測されます。なぜなら、化学工学会のVISION 2036に掲げられている通り、『原子・分子から地球規模までにまたがるトランススケール思考を磨き、社会の変化に素早く対応し課題解決につなげる』には、気液固を駆使した技術発展が必要と考えるからです。

2024年度は会員の皆様により積極的な発信ができるよう、ホームページを更新しました。総会にて会員のご承認がいただけたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。また今後の維持更新のしやすさを含め、ご多忙の中、ご尽力いただきました幹事の先生方にも感謝いたします。これまでの諸先輩方が築かれた貴重な資料も閲覧でき、より充実しアクセスしやすい場になるよう努めるとともに、会員の皆様の改善アイデアをぜひお寄せください。

2025年度も、よろしく願いいたします。

（代表 島田直樹）

## 分科会HP更新のご案内

ホームページ更新に際しましては、昨今、スマートフォンなどでご覧になる方も増えていることを考え、スマートフォン対応にするなど、会員の皆様の利便性向上を図りました。

また、皆様よりご提供いただきました分科会に関連する実験・シミュレーションなどの画像を、トップページ上部の遷移画像として使わせていただきました。この画像は定期的に更新する予定ですので、画像のご提供に件、引き続きご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

ご意見・ご感想など、ご教示いただけますと幸いです。

<https://budrpa.sakura.ne.jp/>

（副代表 水田敬）

## 2024年9月 分科会総会の開催報告

以下の件について総会にて報告いたしました。

- 2024年度の会計中間報告（金井会計幹事）  
法人口座開設の件  
部会からの交付金の件
- 分科会HP開設の件（金井メール担当幹事）
- MMPE2025の進捗状況（寺坂議長）
- 2025年度行事予定（齋藤行事担当幹事）  
秋季大会シンポジウム「気液固分散工学2024」  
第29回気液固サロンの紹介：北海道総研 富樫様  
第30回気液固サロン予定  
ニューズレター発行 2024年7月発行済

（代表 島田直樹）

## 第29回気液固分散工学サロンの開催報告

2024年9月11日（化学工学会第55回秋季大会1日目）の夕刻に、北海道大学札幌キャンパスにて、恒例の気液固サロンを開催しました。北海道立総合研究機構の富樫憲一博士を講師にお招きし、「相変化を伴う気液混相噴流の噴出口条件の評価～熱工学と混相流～」の題目で今後のSDGsに資すると注目される氷スラリーや自己熱再生の現象についてご講演いただきました。

（企画幹事 齋藤泰洋）

## 第30回気液固分散工学サロンのご案内

2025年3月12日（化学工学会第90年会1日目）の夕刻に、東京理科大学 葛飾キャンパスにて金井由悟先生（福岡大学）から「水平円筒槽内で気泡流によって誘起される液面振動現象」と題してご講演いただく予定です。詳細はメールまたはHPにてご案内予定です。お申込みは

<https://forms.gle/xuoN8mqGBhbwECxPA>

から可能です。

（企画幹事 齋藤泰洋）

## 気泡・液滴・微粒子分散工学2024の開催報告

本会は26件のお申し込みをいただき、第一日目と第二日目午前にわたって開催しました。現象観察からシミュレーション、最近話題の機械学習の試みまで多彩な講演がありました。

甲斐 敬美先生（鹿児島大）から、優秀論文賞記念講演として「流動触媒層におけるエマルション相空隙率と気泡径に対するガス物性の影響の同時観察」を実施いただき、本研究の意義について丁寧に説明いただきました。

部会HPでご案内の通り、厳正な審査の結果、本シンポジウムからは4件のシンポジウム賞（プレゼンテーション賞）がありました。受賞された、皆様またご指導いただいた先生方、誠にありがとうございます。

（企画幹事 齋藤泰洋）

## MMPE2025の進捗報告

粒子・流体プロセス部会主催の国際会議として **MMPE2025**（The 5<sup>th</sup> International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering）が2025年9月8～11日に松江のくにびきメッセで開催されます。これは本部会全分科会の研究内容を網羅した内容ですので奮ってご参加ください。毎回シングルセッションでアットホームな雰囲気大切にしており、若手研究者や学生を応援しています。詳細は下記のWebsiteでご紹介しています。

<http://www.mmpe.jp/>



（実行委員会委員長・議長 寺坂宏一）

## 本分科会関連行事等

本分科会に関連する以下のような学会・イベント情報があります。ご興味のある方は積極的にご参加ください。

- 12<sup>TH</sup> International Conference on Multiphase Flow (ICMF 2025), 2025年5月11～16日, Toulouse, France

<https://www.icmf2025.com/>

- IUTAM Symposium on Machine Learning in Diverse Fluid Mechanics, 2025年5月15-17日, 沖縄県宜野湾市 沖縄コンベンションセンター

<https://iutam-mldfm2025.org/>

- 粉体工学会 2025年度春季研究発表会, 2025年5月21～22日, 宮城県仙台市 フォレスト仙台

<https://www.sptj.jp/event/haru/>

- The 4<sup>th</sup> International Conference on COMPSAFE 2025 (Computational Engineering and Science for Safety and environmental problems), 2025年7月1～4日, 兵庫県神戸市 神戸国際会議場

<https://www.compsafe2025.org/>

- 環境工学国際ワークショップ (IWEE2025), 2025年7月18～21日, 北見工業大学

<https://www.jsme.or.jp/env/iwee/2025/>

- The 7th Symposium on Fluid-Structure-Sound Interactions and Control (FSSIC2025), 2025年7月27～31日, Oshawa/Toronto, Canada

<https://fssic2025.com/>

- 第59回化学工学の進歩講習会・2025年度ミキシング夏期セミナー「攪拌・混合技術の操作・設計基礎と最新情報」, 2025年8月28～29日, 名古屋工業大学

<https://scej-tokai.org/5773/>

- 日本混相流学会 混相流シンポジウム 2025, 2025年9月3～5日, 神戸大学工学部

<http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2025/index.html>

- International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering (MMPE) 2025, 2025年9月8～11日, 島根県松江市 くにびきメッセ

<https://pub.conf.it.atlas.jp/en/event/mmpe2025>

- 22<sup>nd</sup> International Conference on Flow Dynamics (ICFD2025), 2025年11月10～13日, 宮城県仙台市 仙台国際センター

<https://www.ifs.tohoku.ac.jp/icfd/2025/>

（企画幹事 齋藤泰洋）

## 入会のお勧めとご意見募集

本分科会ではこれまでに引き続き、本分野及び分科会の活動に関心をおもちの方々の入会を募集しております。化学工学会の正会員または学生会員であれば会費は無料です。

お知り合いの方などにお声がけいただけますと幸いです。入会の  
詳細につきましては、下記 HP をご覧下さい。

(新 HP)

<https://budrpa.sakura.ne.jp/>

(旧 HP)

[http://www.applc.keio.ac.jp/~terasaka/BUDROP  
E/](http://www.applc.keio.ac.jp/~terasaka/BUDROP<br/>E/)

(代表 島田直樹, 副代表 水田敬)